

風力発電のアセスメントの問題意識

今、大分・臼杵の佐賀関から九六位山にかけての稜線にエコパワーと関西電力の 2 社が風力発電の計画を進行中で、環境破壊や健康被害、景観を損ねるなど色々な問題が起きています。

更に、彦岳周辺に 3 社が大分臼杵より巨大な 5500 キロワットの風車数十基を計画しています。

再生可能エネルギーの名を利用した、外資系や九州と関係のない企業の金儲けだけの事業です。

国も大分県も、法に触れなければなんでもありを容認しているとしか言いようがありません。

脱化石燃料には賛成ですが、再生可能エネルギーの巨大開発で、身の回りの自然が破壊されて

いくのは身につまされます。

日本はどうなって行くのでしょうか？

コロナに負けないように頑張ってください。

チーム 2℃ 江口 初男